

コード	303020701
記入日	H21.6.10

事務事業途中評価表

課コード	110
課名	福祉長寿課
課長名	峯脇 泉
担当者	平尾 好春

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	老人クラブ活動等補助事業費	事業種類	単年度繰返事業
		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	303	施策名称	お年寄りの元気を支える体制づくり	項コード	1
基本事業コード	30302	基本事業名称	高齢者社会を支える環境づくり	目コード	3
事務事業コード	3030207	事務事業名称	老人クラブ活動等補助事業費	細目コード	239
関連計画	新上五島町老人保健福祉計画		法令・条例規則等	新上五島町補助金交付規則	

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。							
対象: 誰、何を対象にしているのか			対象指標: 対象の大きさを表す指標						
(対象1) 単位老人クラブ			(対象指標1) 61クラブ						
(対象2)			(対象指標2)						
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)						
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
*****		・61単位クラブに補助金を交付した。 補助金額2,867,000円 (1クラブ47,000円)	*****	*****	*****	補助金交付数61クラブ÷申請数62クラブ	*****		
			① 補助金交付数		61クラブ	98.4%		平成20年度	
			(達成率分析)		申請クラブの内容を審査し、すべてのクラブに交付した。				
			②		(達成率分析)				
目的: 何をしたいのか			成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)						
単位老人クラブが行う各種活動が円滑に実施できるよう、助成を行う。			(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
			*****	*****	*****	会員数3,738人÷前年度会員数4,028人	*****		
			① 会員数		3,738人	92.8%		平成20年度	
			(達成率分析)		単位老人クラブの活動が活発に行われているが、老人クラブが休止している地区もあり、関係者との連携の下、梃子入れが必要。				
			②		(達成率分析)				

実施 (DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。											
	単位	全体計画		平成19年度以前	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	①クラブ数	265	264	203	62	61					
	②										
成果指標	①会員数	13,735	13,445	9,707	4,028	3,738					
	②										
総事業費C (A+B)		千円	13,744	13,680	10,813	2,931	2,867				
直接事業費 A		千円	13,744	13,680	10,813	2,931	2,867				
人件費 B		千円									
内訳	従事職員数	人									
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円	7,773	6,878	5,089	2,684	1,789				
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源		千円	5,971	6,802	5,724	247	1,078				

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	町として老人活動の場としての受け皿への助成が必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	高齢社会に対応した団体として必要である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 ● 不適切	理由	一定年齢以上の高齢者としている。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	活発に活動しており地域活動への参加も積極的。
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	活動がマンネリにならないよう新たな取り組みを自発的にできるよう支援する。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ● ない	理由	地域に根ざした老人の活動の場が失われる。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ● できない	理由	類似団体はない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	できるが、毎年のように補助額を削減してきている。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	人件費は予算化してない。
	受益者負担は適正ですか。	● はい ● いいえ	理由	クラブごとにまちまちだが、所得の少ない高齢者としては適正と考える。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	老人活動の受け皿としてまた、高齢社会の状況において必要である。
		有効性	地域に根ざした団体の代表として貢献しており、今後も地域の事業に参加していく団体なのでその成果が期待される。さらに、地域支援事業の牽引者としての役割も期待している。
		効率性	繰越金を把握していく必要もあるが、年々削減してきている状況
	2次評価	妥当性	1次評価のとおりに
		有効性	各地域においての高齢者活動が、生きがい対策、地域貢献等につながっていくものとする。今後も支援をしながら事業を実施していくこと。
		効率性	補助の交付についてはその内容を精査し執行していくこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
				このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
	●			事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。